

# 議会の今を伝える

2015. 8. 1 No.38

編集：議会だより編集委員会 印刷：有限会社 利根印刷所  
 発行：沼田市議会議長 星野 稔  
 〒378-8501 沼田市西倉内町780  
 TEL:0278-23-2111 FAX:0278-22-6333

# 沼田市 議会 だより



新たな顔ぶれで正副議長や常任委員会の構成、議席等が決められました。

## 5月臨時会・6月定例会号

臨時会は、5月7～8日の2日間の会期で開催され、正副議長の選挙や常任委員等の選任のほか、議会改革特別委員会の設置、各一部事務組合議会議員の選挙を行うとともに市長から報告6件、条例2件、人事1件の合計9件が提出され、全て原案可決、承認、同意となりました。定例会は、6月11日から23日までの13日間の会期で開催され、選挙管理委員及び補充員の選挙を行うとともに市長から報告2件、条例6件、補正予算3件、人事1件、その他3件の合計15件が提出され、全て原案可決、異議なしとなりました。議会からは規則1件が提出され、原案可決となりました。また、グリーンベル21特別委員会を設置することとなりました。

## 議会日程表

5月臨時会		
日	会議	内容
7	本会議	開会 正副議長の選挙 常任委員の選任等
8	本会議	報告 提案理由の説明 質疑・討論 ・採決 一部事務組合議会議員の選挙 特別委員会の設置 閉会
6月定例会		
日	会議	内容
11	本会議	開会 選管委員選挙 報告 提案理由の説明 質疑・討論・採決
15	本会議	一般質問 (4人)
16	本会議	一般質問 (4人)
17	本会議	一般質問 (2人)
18	委員会	総務文教常任委員会
22	委員会	経済建設常任委員会
23	本会議	委員長報告 提案理由の説明 質疑 ・討論・採決 特別委員会の設置 閉会

**正副議長の選挙**

◎議長選挙

有効投票19票、無効投票1票

星野 稔 議員 18票 当選

小野要二 議員 1票

◎副議長選挙

有効投票19票、無効投票1票

小野要二 議員 19票 当選

**常任委員の選任**

**総務文教常任委員会**

委員長 高柳勝巳 議員

副委員長 金子浩隆 議員

委員 永井敏博 議員

委員 井上 弘 議員

委員 小野要二 議員

委員 大島崇行 議員

委員 星野佐善太 議員

**民生福祉常任委員会**

委員長 大東宣之 議員

副委員長 坂庭直治 議員

委員 林 清史 議員

委員 中村浩二 議員

委員 高山敏也 議員

委員 大竹政雄 議員

**経済建設常任委員会**

委員長 野村洋一 議員

副委員長 久保健二 議員

委員 桑原敏彦 議員

委員 茂木清七 議員

委員 星野妙子 議員

委員 井之川博幸 議員

**議会運営委員の選任**

委員長 星野佐善太 議員

副委員長 大島崇行 議員

委員 高柳勝巳 議員

委員 大東宣之 議員

委員 野村洋一 議員

委員 井上 弘 議員

委員 高山敏也 議員

委員 久保健二 議員

**議案第42号**

沼田市監査委員選任の同意について

監査委員の任期満了に伴い、大島崇行議員が選任されました。

**利根沼田広域市町村圏振興整備組合議会議員の選挙**

小野要二議員、高柳勝巳議員の以上2名が当選しました。

**新しく選出された議員の顔ぶれ**

凡例

議席番号	所属会派	期数	氏名	所属常任委員会
				※議場の並び順

沼田市外二箇村清掃施設組合議会議員の選挙

小野要二議員、大東宣之議員、坂庭直治議員、林 清史議員の以上4名が当選しました。

**利根東部衛生施設組合議会議員の選挙**

大東宣之議員、坂庭直治議員、中村浩二議員、高山敏也議員、星野 稔議員の以上5名が当選しました。

**群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙**

星野 稔議員が当選しました。



18番 新政同志会 5期  
**大竹 政雄** 議員  
民生福祉常任委員



17番 新政同志会 4期  
**大島 崇行** 議員  
総務文教常任委員



12番 新政同志会 2期  
**野村 洋一** 議員  
経済建設常任委員



11番 新政同志会 2期  
**高山 敏也** 議員  
民生福祉常任委員



10番 無会派 4期  
**高柳 勝巳** 議員  
総務文教常任委員



9番 無会派 1期  
**井上 弘** 議員  
総務文教常任委員



4番 新政同志会 1期  
**茂木 清七** 議員  
経済建設常任委員



3番 新政同志会 1期  
**桑原 敏彦** 議員  
経済建設常任委員



2番 無会派 1期  
**永井 敏博** 議員  
総務文教常任委員



1番 新政同志会 1期  
**林 清史** 議員  
民生福祉常任委員

**報告第1号**  
沼田市税条例等の一部を  
改正する条例について

改正の主な内容は、個人市民税関係では、ふるさと納税の申告特例の創設、法人市民税では、均等割の課税標準の定義の改正、軽自動車税では、軽四輪等の燃費性能に応じたグリーン化特例の導入、二輪車等の税率引き上げ時期を本年4月1日から明年4月1日に延期するものです。

また、固定資産税関係では、土地の負担調整等現行制度の継続による年度の更新等、関連条文の整備を行ったものです。

**反対討論要旨**

今回の改正は、消費税増税の先送り実施を前提に、法人税引き下げの代替財源を確保するための地方税法改正などに伴うもので、将来的には、法人住民税の減少につながり反対です。

【賛成多数 承認】

**報告第4号**  
専決処分報告、平成26年度  
沼田市一般会計補正予算  
(第12号) について

本補正予算は、譲与税、交付金の決定及び事業費の確定に伴う財源の変更並びに緊急に措置

しなければならぬものに限定し、既決の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億8,309万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ232億611万7,000円としたものであります。

【歳入】第4款 衛生費は、2億9,881万円の追加ですが、国民健康保険の財政基盤の安定化を図るため、基金を積み立てる国民健康保険特別会計繰出金の追加などです。

【歳入】第18款 繰入金は、2億3,869万3,000円の追加ですが、財政調整基金繰入金の追加などです。

**質疑趣旨** 国民健康保険特別会計

への一般会計繰出金について、詳細をお聞かせください。

**答弁趣旨** 今回の繰出金は、国民健康保険基金への積み立てで約2億4,000万円ほど行う内容になっていきます。

基金保有額は、厚労省の通知から過去3カ年の平均給付費の5%を目安に積み立てる指導があり、現在の保有額は約20万円ほどという状況です。

26年度の決算見込みも立ち、また、27年度の今後の運営を図る中で適正な運営を図っていきたいということを考え計上させていたいただいたものです。

**特別委員会の設置について**

議会改革に関する調査・研究を行うため、11人の委員で構成する議会改革特別委員会を設置し、議会基本条例及び議会改革に関する事項を付託致します。

本特別委員会の委員長に大島崇行議員、同委員長には久保健二議員が選出され、同委員には、永井敏博議員、星野妙子議員、金子浩隆議員、井上弘議員、高柳勝巳議員、高山敏也議員、野村洋一議員、大東宣之議員、星野佐善太議員が選任されました。



20番 沼愛クラブ 6期  
星野 佐善太 議員  
総務文教常任委員



19番 新政同志会 4期  
星野 稔 議員  
議長



16番 日本共産党沼田市議団 8期  
井之川 博幸 議員  
経済建設常任委員



15番 日本共産党沼田市議団 8期  
大東 宣之 議員  
民生福祉常任委員長



14番 沼愛クラブ 4期  
小野 要二 議員  
副議長 総務文教常任委員



13番 沼愛クラブ 4期  
久保 健二 議員  
経済建設常任副委員長



8番 無党派 2期  
金子 浩隆 議員  
総務文教常任副委員長



7番 無党派 1期  
星野 妙子 議員  
経済建設常任委員



6番 沼愛クラブ 3期  
坂庭 直治 議員  
民生福祉常任副委員長



5番 沼愛クラブ 1期  
中村 浩二 議員  
民生福祉常任委員



玉原でのブナの移植活動

**林業活性化対策について**  
**観光客に対する安全・安心の確保について**  
**児童生徒の安全確保のための安心メール発信について**

**坂庭 直治 議員**



真田丸で沼田を元気にするプロジェクト

**グリーンベル21再生に向けて**  
**NHK大河ドラマ「真田丸」放映に向けて**  
**財政調整基金について**

**金子 浩隆 議員**

**Q1**群馬県には、7,000万立米の木材資源があると言われて  
 います。  
**A1** 原木を集める集材センターの設置を含めた、森林のさらなる活用について伺います。  
**A1** 良質材は県産材センターや市場へ主に出荷されますが、その他の木材は、チップやおが粉用などとして利用されています。今後は、低価格で処理されている木材について、木製パレット等への利用促進をはじめ、需要が急増している国々への輸出や集材センター設置など、流通体制整備等について、木材関係

**Q1** グリーンベル21について「全館をいったん閉めた上で利用方法を検討したい。当面はテナント誘致をしない。」という報道を受けて、改めて検討状況と今後について伺います。  
**A1** 新たに設置した「グリーンベル21構想委員会」において早期に利活用の方針を決定し、具体的な活用プランを検討してまいります。1街区商業施設棟は当面の間、閉館します。  
**Q2** グリーンベル21への市庁舎移転の検討はどこまで進んでいるのか伺います。  
**A2** 庁舎整備庁内検討委員会

団体等と研究を進めていきたいと考えています。  
**Q2** 広葉樹の放射能を測定してキノコを植えて結果を見る実験をして行くことが必要です。  
**Q2** 群馬県や国と連動して取り組みが可能なかと思いますが、市長の見解をお伺いします。  
**A2** 広葉樹を利用した特用林産物については、放射性物質の影響により、野生キノコの出荷制限、出荷自粛や価格の下落、風評被害の発生等、厳しい状況が続いています。  
 原木の放射性物質検査などは、利根沼田環境森林事務所が無料

から「グリーンベル21への移転を最優先に検討すべき」との中間報告がなされています。市庁舎として利用することは商業施設等との相乗効果により複合施設として有効活用ができると考えています。  
**Q3** 沼田城址公園への観光誘客として、観光案内所の設置について、「大河ドラマ館」誘致の可能性について、大型観光バス用駐車場整備について伺います。  
**A3** 沼田公園付近に空き店舗を借りて、観光案内所を設置します。本市の観光情報を発信するとともに、真田に関する展示、

で行っていますが、広葉樹の放射性物質検査については、関係機関と協議していきたいと考えています。  
**Q3** 花粉の少ないスギ・ヒノキの苗木を植え替えて行けば花粉症対策にもなりますが、市長の見解をお伺いします。  
**A3** 少花粉あるいは無花粉のスギなどの植林を計画的に推進するため、森林整備計画への位置づけについて検討していきたいと考えております。  
**Q4** 外国からの観光客が増加する中、案内看板などに中国語・英語の標示が早く必要です。

物産品の販売、観光ガイドの受付、観光協会事務局機能などを設置し、秋頃の開設を目指します。また、NHKへの働きかけを継続して行っていく中で、大河ドラマを活用した展示などの可能性について検討します。  
 現在、公園周辺には7台の観光バス専用駐車場があり、集客状況に合わせ対応していきます。  
**Q4** 沼田城遺跡発掘調査の見学会を開催して観光誘客できないか伺います。  
**A4** 沼田公園テニスコート北側の堀跡部分の発掘調査を予定しています。見学会などを検討し

市長の見解をお伺いします。  
**A4** 最近では、吹割の滝などにも外国人観光客がふえてきましたので、注意喚起用の看板につきましても、外国語表記を行うなど配慮していく考えです。  
**Q5** 児童生徒の安全確保のための安心メール発信についてお伺いします。  
**A5** メール配信システムを導入していない学校において、保護者等の意見をお聞きしながら、安心メールの活用が必要であると判断した場合には、メール配信システムの導入に向けて、働きかけていく考えです。

ていきます。  
**Q5** 平成26年度の財政調整基金は約41億円から約21億円に、一年で約半分になっているが市長の知見をお伺いします。  
**A5** 財政調整基金は年度間、あるいは年度内の財源不足に備えるため、決算剰余金などを積立、不均衡をならすための繰り入れや、不況等による大幅な税収減に見舞われたり、台風や地震などの自然災害により生じた予期しない経費に充当するものです。国県等の補助金やできるだけ有利な地方債の活用など、効率的な財政運営に努めてまいります。



老神温泉大蛇まつりの大蛇

白沢・利根支所について  
まち・ひと・しごと地方創生について  
(仮称)利南運動広場について

中村 浩二 議員



ぬまた南保育園の入園式

産婦人科医の確保と現状について  
振興局から支所への移行について  
消防団について  
子育て支援について  
シルバー人材センターについて

星野 妙子 議員

**Q1** 白沢支所、利根支所の機能について、特に窓口業務等に支障はないのか、行政サービスの低下にならないか伺います。

**A1** 支所では、地域コミュニティの推進、住民自治支援業務、消防団分団事務、住民生活に直結した各種窓口業務、施設維持管理業務等を、更に利根町にあるのは、過疎対策や集落維持等及び観光振興のために必要な地域特有の業務を取り扱っているもので、行政サービスが低下しないよう対応しています。

**Q2** 両町民の不安や懸念を払拭するための対策等は講じてきた

**Q1** 安心して出産・子育てができる医療体制は重要です。産婦人科医の確保と現状について伺います。

**A1** 医師確保に向け市長会及び利根地方総合開発協会等を通じて働きかけを行い、現状として産婦人科医師が確保され、診療体制が維持されました。今後も関係機関と連携を図りながら産婦人科医療の確保に向けた働きかけを行ってまいります。

**Q2** 白沢町・利根町の振興局から支所の移行について伺います。

**A2** 本年3月末日をもって自治区の設置期間が満了となり支所の

のかについて伺います。

**A2** 両地域協議会に、支所を設置する方向で説明してきたところであります。また、行政サービスが低下しないように対応を図るとともに、全庁的に職員数の削減を図っている中において、できる限りの職員を配置し、地域住民の不安や懸念を払拭するよう努めてきたところです。

**Q3** 人口減少対策について、人が集うための施策をどのように考えているのか伺います。

**A3** 本市においても、人口減少の克服等を目的とした地方版総合戦略の策定に取り組んでいる

を設置し、更なる新市としての一体感の醸成を図ってまいります。各地域の個性を活かした地域づくりを推進してまいります。

**Q3** 特に広い利根町の災害等有事対応について伺います。

**A3** 災害等有事の対応については所管する「東消防署」と「消防団第7分団」の連携により、十分に機動力を発揮しているものと認識しております。「消防団、自主防災組織」など、地域の組織強化を図ってまいります。

**Q4** 消防団員の確保と現状について伺います。

**A4** 本市消防団員数は全国と同

ところであり、先行的な取組といたしまして、お試し住宅（トライアル・ハウス）を整備し、移住・二地域居住の推進を図るとともに都市間交流事業を推進し、進め、本市への人の流れを創出していきたくと考えています。

**Q4** 企業誘致等による雇用の確保について、市として誘致等をどのように行うのかについて伺います。

**A4** 県内をはじめ首都圏等への企業訪問やアンケート調査による情報収集を行い、工場の跡地や遊休資産などの紹介も行って

じく減少傾向であり団員確保については実態に合わせた検討を消防団役員と進めてまいります。

**Q5** 女性消防団設置に向けた考え方について伺います。

**A5** 女性の消防団への参画は火災予防思想の普及啓発活動や消防団員定数確保のためにも重要な位置づけであり、消防団役員と協議しながら導入にむけ研究してまいります。

**Q6** 第3子以降保育料無料化の手続きについて伺います。

**A6** 入園決定後に送付する保育料の決定通知書に保育料無料化申請書を同封し申請に基づき3

関係機関と連携を図りながら、企業が立地しやすい環境づくりに努めてまいりたいと考えています。

**Q5** (仮称)利南運動広場の施設整備の計画に対する進捗状況について、また整備完了はいつ頃になるのかについて伺います。

**A5** 平成18年度に実施した基本設計の見直しを本年度実施いたします。

なお、施設整備の完了時期につきましては、関係部局と協議し、検討してまいりたいと考えています。

人以上の子供の扶養などを確認後、利用者負担額変更決定通知書を送付し無料となります。

**Q7** シルバー人材センターは高齢者のライフスタイルに合わせた簡易就業を提供し地域社会活性化に貢献しております。沼田市の支援策について伺います。

**A7** 高齢者の臨時的かつ短期的な簡易就業を提供する役割は重要であり、様々な社会参加を通じて生きがいのある生活実現と地域社会福祉の向上に貢献し、就業の機会を確保する団体として育成すべく、補助金を交付し支援してまいります。

**安法制制について  
グリーンベル21に  
ついて  
有害鳥獣対策につ  
いて  
通学路について**

**大東 宣之 議員**



原水爆禁止国民平和行進の様子

**Q1** 安法制制について、自衛隊員が戦闘行為に参加することをどう考えているのか伺います。

**A1** 国会におきまして「安全保障関連法案」が審議されているところであり、市長の立場といたしましては、その動向を注視しているところであります。

**Q2** グリーンベル21について、テナント出店への取り組みはどのようにされ、状況はどのようになっているのか伺います。

**A2** これまで、出店等についての問い合わせもいただいておりますので、早期に利用方針を決定するとともに、配置や出店に

際しての条件などを整理し、テナントの募集に努めてまいりたいと考えております。

**Q3** グリーンベル21の活用について、今後の取り組みはどう進められるのか伺います。

**A3** 今後、グリーンベル21の再生に向けて、ビルの利活用等について検討するため、「グリーンベル21構想委員会」を設置し、建物の構造上の問題や法的な課題などについて確認を行いながら検討を進めることとしており、早期に利活用の方針を決定していきたいと考えております。

**Q4** 今後どのように有害鳥獣対

策に取り組みむのか伺います。

**A4** 今後も農地等への侵入を防ぐための獣害防止侵入柵設置資材の補助、おりやわなの設置、沼田市鳥獣被害対策実施隊による数を減らす対策、収穫後の不用農作物などの適正処理や緩衝帯の整備などの対策を引き続き実施します。

**Q5** 利根町の猿へのGPS装着試験の状況と今後の対応を伺います。

**A5** 昨年11月に民間企業によるリアルタイムGPS開発の実証実験が利根町で行われることとなり、今年3月、2頭の猿に装

着し位置や行動範囲などのデータ収集を開始しました。今後、より効果的な猿被害対策につなげていく考えです。

**Q6** 通学路の安全対策をどのように進めるのか伺います。

**A6** 「セイフティ沼田」に基づき、各学校が、通学路の危険箇所等を明示した安全マップを充実させ地域の実態に応じた適切な対策を行うよう働きかけてまいりたいと考えております。

各学校や地域、関係機関等と一体となつて、通学路の安全対策に万全を期していきたいと考えております。

**「地方人口ビジョン」および「沼田市版総合戦略」について  
新たな広域連携に  
ついて  
公共施設等総合管理計画について**

**久保 健二 議員**



年々減少する沼田市の成人

**Q1** 地方自治体の創意工夫と実効性の高い施策が求められている中で、本市の地方版総合戦略策定の具体的な進め方および進捗状況を伺います。

**A1** 地方創生に向けて全庁的に取り組み、「しごとづくり」、「人の流れ」、「結婚・出産・子育て」を中心に市民構想会議や議会の意見を伺いながら、今後5年間の取り組みについて検討し、策定に取り組んでいきたいと考えています。

**Q2** 行政の保有するビッグデータをもとに将来推計・施策への反映によって実効性が高まり、

またオープン化することで地域の活性化につながると思うが、その活用について伺います。

**A2** 市は産業関係情報や福祉関係情報など幅広い分野のデータを保有しています。地方版総合戦略策定に当たっては国からの情報等も活用し、活用した情報等については可能な範囲で公開し、地域の事業者の方々が活用できるように努めていきたいと考えています。

**Q3** 利根沼田地域は一体で様々な課題解決に取り組んでいるが、ともに共有できる新たな将来ビジョンの策定が必要ではないか

伺います。

**A3** 現在は「広域市町村圏計画」の策定はされていない状況です。各市町村の個性を大事にしつつ、色々な施策において広域的な連携が図られることが望ましいと考えています。

**Q4** 公共施設等の状況を把握し、計画的に管理するための公共施設等総合管理計画策定の進め方及び進捗状況を伺います。

**A4** 本計画は公共施設等の全体を把握し、長期的な視点での更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行い最適な配置を実現するものです。

対象施設は、今後の計画策定に係る調査で明確となりますが、現段階での目安としては、公共施設として約250施設のほか、インフラ資産として道路約1,400キロメートル、橋梁約300箇所、上水道約164キロメートル、簡易水道約402キロメートル、下水道約275キロメートル等を見込んでいます。今年度から2年間での策定を予定していますが、まずはデータ収集とその整理、分析します。その上で更新等の費用予測や施設評価、優先順位の検討などを進めていく予定です。



グリーンベル21

## グリーンベル21 について

高柳 勝巳 議員



特別養護老人ホームききょうの里

生き生き長寿のまちづくり計画について  
介護保険料や特養ホームの建設について  
国保税について  
高校卒業までの医療費無料化について

井之川 博幸 議員

**Q1** グリーンベル21について、いつ頃を目的に「リニューアル」の姿が見えるのか、タイムスケジュールに不安を覚えるのは私だけではないと思います。そこでまず、所有権取得後の老朽化等の建物調査の内容と改修期限について伺います。

**A1** 建物の状況把握を目的に、外壁や屋上防水の劣化状況をはじめ、配管の腐食や設備機器の状況など調査を進めています。建物調査の中間報告は7月に、また、9月には最終報告書がまとまる予定ですので、これらの調査結果をもとに、必要な補修

**Q2** 沼田都市開発(株)の現在の業務内容と今後を伺います。

**A2** 警備業務、清掃業務、保守点検業務と法定検査への対応及び植栽管理などですが、一時間閉館に伴い、必要最小限の施設管理を行うこととし、今後は、具体的な活用プランにあわせて検討していく考えです。

**Q3** 出店テナント募集準備の進捗状況について伺います。

**A3** 商業施設の運営には、専門的なノウハウが不可欠であり、早期に活用プランを検討すると

**Q4** グリーンベル21活用推進課での検討結果と庁内組織の合意形成の在り方を伺います。

**A4** 寄せられた意見・要望をはじめ、市民構想会議や庁内での意見等をもとに、建物の構造上の問題なども確認を行いながら、早期に利活用の方針を決定し、具体的な活用プランを検討していきたいと考えています。

**Q5** 庁舎整備検討委員会の検討内容と今後の進め方を伺います。

**A5** 昨年度、部会と合わせて8

**Q6** グリーンベル21を庁舎とした場合と新築との費用比較について伺います。

**A6** 新築の場合の建設試算額は32億円を超え、グリーンベル21を庁舎とした場合の改修費用は、これよりも相当低い額となるものと推計しています。

**Q1** 介護保険制度改正の内容と市の対応について伺います。

**A1** 利用者負担の引き上げのほか、特養ホーム入所者の重度者への限定、低所得者に対する補給付にあたっての資産勘案、介護予防給付の市町村事業への移行などです。

市町村事業への移行は、介護事業所による既存のサービスに加え、NPOなど事業の受け皿を確保する必要があることから、平成29年4月のスタートに向けて準備を進めています。

**Q2** 介護保険料の引き下げ、特に低所得者に対する軽減措置の

**Q3** 施設入居者における低所得者に対する現在行われている軽減措置と一層の充実について伺います。

**A3** 高額介護サービス費及び施設利用時の居住費及び食費の利用者負担の軽減などを実施しています。

**Q4** 沼田圏域での平成29年度における特別養護老人ホーム広域

**Q5** 国民健康保険税の引き下げについて伺います。

**A5** 県内他市町村とも連携し、適正に対応していきたい。

**Q6** 子どもの医療費の無料化の

ともに、具体的なテナントの配置計画や出店条件などを整理し、募集に努めていく考えです。

**Q7** 防災無線などがない地域における希望者への「緊急告知ラジオ」などの配布について伺います。

**A7** 「緊急告知ラジオ」は、82台を配布しており、今後は、より多くの希望する市民に配布できるように検討し、安全・安心の確保に努めていく考えです。

先行実施について伺います。

**A2** 市独自の減免の導入は慎重であるべきと考えており、市としては、国の動向を注視しながら、国の計画に基づいて取り組んでいく考えです。

**Q1** 型60床、地域密着型20床の県計画内容と市の対応について伺います。

**A4** 沼田市内については、広域型介護老人福祉施設60床、地域密着型介護老人福祉施設20床ですので、広域型は県の事前連絡を待つて、市が認可する地域型は県と足並みをそろえ、沼田市介護保険運営協議会に諮って進めていく考えです。

**Q6** 子育て支援の一つとして重要な施策であると認識していますので、今後も県内他市町村等の動向などに配慮しつつ、適切に対応していきたい。

観光の振興について

交通施設等の整備について

(仮称)利南運動広場の整備について

大島 崇行 議員



望郷ラインセンチュリーライド

Q1 県内12市のうち、本市だけがマラソン大会が開催されておられません。

観光振興としてマラソン大会などのイベントの開催についての考え方についてお聞きします。

A1 マラソン大会などはスポーツ振興とあわせて、自然環境のアピールや観光客の誘引など地域振興にとつて多くの効果をもたらすものと考えています。

今後、開催に向けた研究を行うっていきたくと考えています。Q2 新たな道の駅や物産館についての構想や、白沢の道の駅拡張への考え方をお聞きします。

A2 道の駅「白沢」は、望郷の湯と直売所の利用者の合計で年間30万人を超えています。現時点での拡張計画はありません。

近くには川場村の田園プラザもあり、周遊性を高める中で、宿泊も含めた観光消費額を経済圏域として高めて行くことが肝要と考えています。

Q3 秋に開設される利根中央病院、今年の3月に増築された沼田脳神経外科へは、多くの患者さんが車で来院されると思われるが、沼須町及び新町、栄町などの交通安全対策について、市長のお考えをお聞きします。

A3 それぞれの病院までのアクセス道路では、交差点部の隅切りや信号機の設置など道路施設の整備等の安全対策が必要となる箇所もあると考えられます。

近隣の方々の安全の確保や利便性、また、通行車両の安全で円滑な通行の確保が図られるよう関係者や関係機関等と協議を進め、改善を図るべく検討していきたくと考えています。

Q4 (仮称)利南運動広場の整備内容について、基本設計の修正のための設計費が今年度、予算化されていますが、どの程度の規模の野球場、及びテニスコ

ートとなるのか伺います。

A4 今回の見直しは、平成18年度に実施した基本設計の見直しを本年度、実施するものです。

当時から相当の期間が経過していることや、野球場の設計が簡易であることから、観客席、スコアボード、審判控室、管理室、夜間照明のLED化などの見直しを行うものです。

見直しに当たっては、群馬県野球連盟利根沼田支部、沼田市テニス協会及び沼田ソフトテニス連盟など関係者と調整を図りながら実施していきたく考えています。

再生可能エネルギーの拡大に向けて子育て支援について

野村 洋一 議員



子育てフェスタの一幕

Q1 東京電力福島第一原子力発電所の事故を契機に、日本中で再生可能エネルギーの取り組みが加速され、企業や自治体の参入が大幅に増加しています。

しかし、本市における取り組みは他と比較して立ち後れていると認識していますが、自然エネルギー導入や拡大に向けた状況を伺います。

A1 太陽光発電では、土地貸しによる大規模発電事業を利根町平川地内で進めているほか、佐山と多那の2箇所において太陽光発電事業を計画しています。バイオマス発電では、周辺地

域で木質バイオマス発電施設の建設や計画があることから、木質燃料の安定供給など、慎重な検討が必要と考えています。

小水力発電は、施設内消費を目的とした小規模な水力発電施設の導入を検討していく考えです。

Q2 先進事例の導入と自然エネルギービジョン等の計画策定の検討について伺います。A2 バイオマス発電では、下川町をはじめ、日本全国でバイオマスタウン構想を策定し、様々な取り組みを行っている自治体があると認識をしています。

本市では、県内の状況を踏まえ、木質燃料の安定供給が可能かどうか慎重な検討が必要であり、今後、研究していきたく考えています。

Q3 本市における切れ目のない子育て支援の検討状況について伺います。

A3 本市では、27年度において、「子育てコンシェルジュ事業」を新規に事業化したところです。また、今後、さらなる充実化をめざし、出産前後の妊婦の支援について検討を行っているところ。

Q4 妊婦にとつて一番孤独にな

りやすい出産直後のベビシッターの活用について伺います。

A4 出産後の女性は、体の回復も十分でなく、ご質問のベビシッターの活用は大変有効な手立てであろうと思われれます。

こうしたことから本市としては、昼間に家事、育児等を行うことができる人がいない場合に「食事の準備や後片付け、洗濯などの家事支援」や「授乳・おむつ交換・沐浴の介助などの育児支援」を行う『産後の家事援助』についても検討を行っているところ。



## 議案第45号 沼田市いじめ問題専門委員会 条例の制定について

この条例は、地域におけるいじめ防止等の対策を実効的に行うことを目的に、教育委員会の附属機関として「沼田市いじめ問題専門委員会」を設置するため、いじめ防止対策推進法第14条第3項の規定に基づき、制定するものです。

また、附則において関連する沼田市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正も併せて行うものです。

### 総務文教常任委員長報告

沼田市いじめ問題専門委員会条例の制定について、審査の結果をご報告いたします。

沼田市いじめ問題専門委員会は、地域におけるいじめ防止等の対策を実効的に行うことを目的に、教育委員会の附属機関として「沼田市いじめ問題専門委員会」を設置するため、いじめ防止対策推進法の規定に基づき制定するもので、沼田市いじめ問題対策連絡協議会との円滑な連携のもと、学校におけるいじ

め防止等の対策を実効的に行うため、教育委員会に設置する外部専門家等からなる附属機関であると同時に、この委員会は、

学校における対策の指導や教育委員会自らの相談・通報の受付や事案対処を行い、いじめ防止対策推進法で規定する、いわゆる重大事態に対処し、同種の事態の発生防止に資するため、事実関係を明確にする調査も担当するものであります。

審査の過程で各委員からは、昨今報道されている児童・生徒の凄惨な事件が多発している実態への不安と、関係機関の連携の在り方や対応への懸念が質疑として出されました。

また、こうした質疑が、本条例による専門委員会への高い期待感と表裏一体であることも議論の中で確認されたところであります。

本条例で規定する「重大事故」の発生のないことが、子どもたちにとって最良の教育環境になることは間違いありませんが、現状の社会環境を鑑みたととき、こうした社会と完全に無縁の家庭、地域、学校で存在することは困難な時代であることを直視し、本条例の制定は妥当なもの

とし、可決すべきものと決定をした次第であります。  
以上申し上げ、委員長報告といたします。



改修工事の決まった沼田北小体育館

## 議案第54号 沼田北小学校屋内運動場耐震補強及び大規模改造建築工事請負契約の締結について

沼田北小学校屋内運動場は、昭和53年度の建築で耐震基準を満たしていないことから、この度、耐震補強工事を実施するもので、それに合わせて大規模改造工事も行います。

総合評価落札方式による条件付一般競争入札の結果、6月10日、2億1,276万円にて、沼田資源株式会社落札したもので、議会の議決を求めると

です。

工事概要を申し上げますと、沼田北小学校屋内運動場は鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建て、面積は1,501平方メートルで、耐震補強のためのブレースや梁の設置を行うほか、屋根や便所の改修などを実施するものです。

今回の工事の完成は、平成28年2月を予定しています。

### グリーンベル21特別委員会 の設置

6月定例会でも明らかになってきましたように、色々な意味でグリーンベル21への対応が佳境に入りつつあることを踏まえ、グリーンベルの再生及び利活用に関する調査・研究を行うため、12人の委員で構成するグリーンベル21特別委員会を設置することになりました。

本特別委員会の委員長には、高山敏也議員、同委員長には久保健二議員が選出され、同委員には、林 清史議員、桑原敏彦議員、茂木清七議員、坂庭直治議員、星野妙子議員、金子浩隆議員、井上弘議員、野村洋一議員、井之川博幸議員、星野佐善太議員が選任されました。

### 議会だより編集委員会構成 が決まりました。

編集委員長に高柳勝巳議員、同委員長に林清史議員、中村浩二議員、井上弘議員、同委員に永井敏博議員、桑原敏彦議員、星野妙子議員、高山敏也議員、久保健二議員、大東宣之議員の以上10人となりました。



グリーンベル21駐車場棟へ移設中のFM OZIE



民生福祉常任委員会

行政調査報告

平成26年7月2日

◎香川県三豊市  
バイオマス産業都市構想

三豊市は、事業所から出る廃棄物として処理されている食品残渣や家庭から出される廃棄物、また、荒廃化しつつある竹林等をバイオマス資源と位置づけ、その発生から利用までを効率的なプロセスで結んだ「資源が循環し、持続的に発展する地域社会」を実現させるため、平成22年3月にバイオマスタウン構想を公表し、平成23年9月にバイオマス活用推進計画を公表しています。

【竹資源利活用事業】

竹は繊維が固く粘り気があるため加工するのは難しいとされているが、成長の早い再生可能な天然資源であること、抗菌性、殺菌性、脱臭性等の特性に加え、強度の高い繊維質等極めて優れた資源として注目され、学術機関、民間企業等で利用方法について研究が進められています。竹をマテリアル利用やケミカル利用して、資源として有効活用

することにより、竹林の適正管理を行い、有害鳥獣による農業被害の軽減及び里山の保全を図っています。

パーテイクルボードの原料化や抗菌性、消臭性を活用した製品開発、及び成分に含まれるキシロオリゴ糖、リグニン、セルロースの製品化への可能性を探り、50%の利用を目指すとい



荒廃の進んだ竹林



適正に管理された竹林

【課題と留意点】

竹資源事業化への課題として、安定的原料供給体制の構築、用途の開拓や新製品の開発、及

び資源の有効利用や採算性の追求などが挙げられていました。竹資源の有効活用について、担当課職員の努力もあり現在までに425名の竹林所有者のうち250名から伐採の許可を得ており、37名の竹林所有関係の役員と職員が連携を持ち少しずつ成果が出ているようです。

仮に伐採になっても竹材は無料でないと採算性の確保は困難で、事業化に向けた協力体制において、市内業者者に伐採・加工・運搬・原材竹の販売などをされ、産・学・官連携による高付加価値の研究も進み、建築材のパーテイクルボード等も開発されています。

また、竹チップ材の理想単価もキロ当たり企業は100円を想定しているが、市担当者は30円程度にしたいとのことであり、製品化・事業化に向け、同時進行で様々な課題克服に取り組んでいます。

三豊市バイオマスタウン推進課を中心として、生産者、一次加工業者・運搬業者、研究機関、竹利用企業が一体となって、竹資源を有効活用する新産業の創出に取り組んでいました。

今のところ、完全に事業化さ

れ利益を生む産業化の一步手前なのかという感じだったが、将来的には新しい産業化ができると思います。

【食用残渣等利活用事業

(トンネルコンポスト施設)

トンネルコンポストとは、コンクリートと耐圧扉により密閉された構造物内で、投入した食品残渣等の廃棄物と副資材(木質のパーク等)を混合させて発酵させるものであり、事業系一般廃棄物「燃やせるごみ(生ごみ)」と産業廃棄物(食品残渣等)から肥料原料を、家庭系一般廃棄物(燃やせるごみ)と事業系一般廃棄物「燃やせるごみ(混合ごみ)」から固形燃料原料を、製造するもので以下の特徴を有する。

①密閉された構造物であることから、衛生工程、安定化工程及び冷却工程において発酵温度や酸素濃度を最適な条件となるよう、施設内の空気循環及び外気の取り込みを自動制御することが可能。

②発酵は密閉された空間で行われ、場内も負圧化して木質チップ等を利用したバイオフィルターで脱臭した上で排気を行うため、臭気の放出を抑制。

③場内で発生した洗浄水等の排水は、バイオトンネル内で発酵中の加水として利用し、バイオフィルターを通じて水蒸気として外気中へ放出するため、排水処理が不要。

④木質バイオマス(木片)を食品残渣等と混合し通気性を確保するため、攪拌装置や重機等での攪拌が不要で、コストの低減、良好な労働環境を確保。

⑤発酵物は肥料及び固形燃料とすることから、残さ等の発生が少なく資源化効率が高い。

⑥焼却という工程がないため、化石燃料の使用を大幅に削減でき、CO<sub>2</sub>の排出が抑制されることともに、ダイオキシンの発生しない。

⑦施設運営費用が安価。



トンネルコンポスト実証試験装置

【参考点】

三豊市では、平成25年3月に生ごみ等の処理場の使用期限を迎えることから、新しい焼却炉を造るのか別の方法を採用するのかを検討した結果、生ごみ等を燃やすのではなく、食品残渣や生ごみ、家庭一般廃棄物を肥料や固形燃料として再利用することとし、平成23年より行政・業者・大学が連携し処理方法の実験・検証を繰り返し、トンネルコンポスト方式を採用するに至り、本年より工事を着手し、平成28年度には稼働予定とのことでした。

地球温暖化の要因であるCO<sub>2</sub>を削減し、次世代を担う子供達に良好な地球環境を引き継ぐため、ゴミはすべて資源という理念で、環境に配慮した新しいごみ処理施設を進めています。

また、民間企業の技術力・資金力を活用し地域経済の発展と雇用の創出を図れるなど、民にできることは民で、民設民営による設置・運営することで税金による巨額の整備費用が不要になり、巨額な税金抛出を抑えることができます。

経済建設常任委員会  
行政調査報告  
平成26年10月10日

◎群馬県林業試験場(株)数理設計研究所「リアルタイム・シカ行動把握システム」

【実施目的】

現地調査を行い、現在開発中の猿用のシステムもあわせて調査・研究し、本市の課題である有害鳥獣被害の防止対策に資することを目的としました。

【説明概要】

鹿は、木の皮を好んで食べるが、何でも食べるので、農作物だと農業被害、木であれば林業被害になる。

行動把握を行うのは、赤城山で多く出没し、交通事故等人的な問題が出たことや森林の立ち

枯れ等の被害がふえたことによる。

地理的に見ると、日光から利根沼田を通って赤城山へ来るともう山がなくなる。

ここで対策を取らないと町に出てきてしまう。そのため、行動把握が必要になり、生息密度が高いところを探したり食害のあるところを把握しながら増加傾向のあるところを把握し、捕獲対策や植生保護対策を行う。

従来のGPSは、データを蓄積した後で回収するため、精度はよいがタイムラグが大きく、対策が取れない。

ビーコンは、タイムラグはないが精度が悪いので、そこで考えられたのがリアルタイムGPS首輪である。

役割分担をして、林業試験場では首輪のデザインや装着、データを受信局の立ち上げ、ネット

トワーク接続、現場の対応(追跡)をし、その中で問題があれば数理設計研究所にフィードバックして改良してもらおう。これを繰り返して行ってきた。

リアルタイムGPS首輪にはアンテナが必要だが、長さ・強度等の問題点から新しいデザイン、イメージが必要となる。

受信局の設置は、受信エリアの確保、商用電源と3G回線の利用が可能でメンテナンスがしやすい場所。

電波は30km飛び、林業試験場で赤城山南西部、外輪山の内側を山頂でカバーする。受信機、パソコン(バッテリー)とアンテナがあれば受信できる。電源が不利な場所では太陽光パネルを設置する。

調査では、1頭いるところに分かれれば仲間もそこにいることが分かり、赤城山では年14%ずつ増えていることが分かった。

【考察】

県林業試験場で実験しているリアルタイム・シカ行動把握システムは、従来の発信機よりも正確に位置を掴むことができ、その行動の把握に大きな成果をもたらしました。

用しようということだが、猿は群れで行動するので、1頭発信機をつければ1群を把握できることになり、被害防止対策を立て易いと考えます。

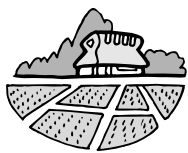
また、従来の山に入って監視していた労力を考えれば、手元のパソコンで位置を把握できることは、その労力を追い払い等、被害防止対策に向けることもでき、素早い対応が可能になるとも考えます。

現在、本市において猿用の試験を行っているが、バッテリー容量等、機械の問題は多少あるものの、この試験で得たデータを精査し、本市の被害対策に役立てるとともに、費用対効果を検討し、このシステムの本採用に向けての調査・研究も行っていただきたいと考えます。

さらに、並行して、山林整備による緩衝帯の創設や捕獲、追い払いを行う人員の確保などの体制整備も行い、本市がモデル地域となることが望まれます。



猿用GPS首輪



## 議案等審査結果表（5月臨時会）

番 号	件 名	結 果
報告第1号	専決処分報告 沼田市税条例等の一部を改正する条例について	承認（賛成多数）
報告第2号	専決処分報告 沼田市都市計画税条例の一部を改正する条例について	承認（全会一致）
報告第3号	専決処分報告 沼田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	承認（全会一致）
報告第4号	専決処分報告 平成26年度沼田市一般会計補正予算（第12号）	承認（全会一致）
報告第5号	専決処分報告 平成26年度沼田市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	承認（全会一致）
報告第6号	専決処分報告 平成26年度沼田市簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）	承認（全会一致）
議案第40号	沼田市手数料条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議案第41号	沼田市建築基準法関係手数料条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議案第42号	沼田市監査委員選任の同意について	同意（全会一致）

## 議案等審査結果表（6月定例会）

番 号	件 名	結 果
報告第7号	平成26年度沼田市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告終了
報告第8号	平成26年度沼田市簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告終了
議案第43号	市道路線の認定について	可決（全会一致）
議案第44号	市道路線の変更について	可決（全会一致）
議案第45号	沼田市いじめ問題専門委員会条例の制定について	可決（全会一致）
議案第46号	沼田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議案第47号	沼田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議案第48号	沼田市介護保険条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議案第49号	沼田市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議案第50号	沼田市建築基準法関係手数料条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議案第51号	平成27年度沼田市一般会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
議案第52号	平成27年度沼田市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
議案第53号	平成27年度沼田市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
議案第54号	沼田北小学校屋内運動場耐震補強及び大規模改造建築工事請負契約の締結について	可決（全会一致）
議案第55号	沼田市議会会議規則の一部を改正する規則について	可決（全会一致）
諮問第1号	人権擁護員の推薦について	異議なし

## ▼ 編集後記 ▲

4月に、市議会議員選挙が行われ、新人7人、元職1人を含む20人の新たな議会構成でスタートしました。これに伴い編集委員メンバーも変わり、新しい体制となりました。

議会のチェック状況、政策提案などをしっかりと伝えていけるよう、読みやすい誌面、わかりやすい誌面を心がけていきます。

今、沼田市はグリーンベル21の問題や中心市街地活性化、人口減少など、様々な課題を抱えています。

地方創生が進められる中で、これからの自治体は「個性」が求められる時代になっていくのかもしれません。

横並びの自治体ではなく、沼田で暮らしたいと思われようになるためにも、課題の「先送り」ではなく、「課題解決」に全力で取り組んでいかななくてはならない時と考えています。

編集副委員長 井上 弘